

(別紙様式2)

令和3年度の目標及びその達成に向けた活動の点検・評価

都 道 府 県 名 : 山口県
農 業 委 員 会 名 : 阿武町農業委員会

I 農業委員会の状況(令和4年3月31日現在)

1 農業の概要

単位:ha

	田	畑	普通畑			計
			普通畑	樹園地	牧草畑	
耕地面積	548	131				679
経営耕地面積	343	45	29	13	3	388
遊休農地面積	23	1	1			24
農地台帳面積	673	259				932

※1 耕地面積は、耕地及び作付面積統計における耕地面積を記入

※2 経営耕地面積は、農林業センサスに基づいて記入

※3 遊休農地面積は、農地法第30条第1項の規定による農地の利用状況調査により把握した第32条第1項第1号又は第2号のいずれかに該当する農地の総面積を記入

	農家数(戸)
総農家数	241
自給的農家数	127
販売農家数	114
主業農家数	23
準主業農家数	18
副業的農家数	73

※ 農林業センサスに基づいて記入。

	農業者数(人)
農業就業者数	222
女性	74
40代以下	5

※ 農林業センサスに基づいて記入。

	経営数(経営)
認定農業者	16
基本構想水準到達者	2
認定新規就農者	0
農業参入法人	2
集落営農経営	0
特定農業団体	0
集落営農組織	0

※農業委員会調べ

2 農業委員会の現在の体制

旧制度に基づく農業委員会

任期満了年月日 H 年 月 日

	選挙委員		選任委員					合計
	定数	実数	農協推薦	共済推薦	土地改良推薦	議会推薦	計	
農業委員数								
認定農業者	—							
女性	—							
40代以下	—							

新制度に基づく農業委員会

任期満了年月日 R 4 年 4 月 2 9 日

	農業委員	
	定数	実数
農業委員数	6	6
認定農業者	—	4
認定農業者に準ずる者	—	
女性	—	1
40代以下	—	
中立委員	—	1

	定数	実数	地区数
農地利用最適化推進委員	6	6	3

*現在の体制を記載することとし、年度途中で切り替わった場合はいずれも記載

Ⅱ 担い手への農地の利用集積・集約化

1 現状及び課題

現 状 (令和3年3月現在)	管内の農地面積	これまでの集積面積	集積率
	681ha	399ha	58.59%
課 題	農業従事者の減少や高齢化が進んでいる。担い手の中心である農業法人等への集積は、大きく見込まれない状況ではあるが、農業法人の統合、認定農業者の育成、新規就農者の参入における利用者集積を図ることが必要である。		

※1 管内の農地面積は、活動計画に記載した耕地及び作付面積統計における耕地面積を記入

※2 これまでの集積面積は、活動計画に記載した担い手(認定農業者及び農業委員会法施行規則第10条で定める者)へ利用集積されている農地の総面積を記入

2 令和3年度の目標及び実績

集積目標 ①	集積実績 ②	(うち、新規実績)	達成状況(②／①×100)
406ha	396ha	-3ha	97.53%

※1 集積目標は、活動計画に記載した集積面積を記入

※2 集積実績は、年度末時点で担い手へ利用集積されている農地の総面積を記入

※3 新規実績は、集積実績のうち1年間に新規集積面積(非担い手が自作又は利用していた農地のうち、担い手に対して権利の設定・移転がされた農地)をどの程度増加させたかを記入

3 目標の達成に向けた活動

活動計画	農地利用最適化推進委員会を中心に法人や認定農業者等の規模拡大の促進や農地中間管理機構と連携し効率的な利用集積を図っていく。
活動実績	新規集積実績3.3haを農地中間管理事業を活用して新たに担い手の法人に集積できた。

※ 活動実績は、目標の達成のために何月に何日何を行ったのか等詳細かつ具体的に記入

4 目標及び活動に対する評価

目標に対する評価	新法人への集積の為に中間管理機構に預けて面積を減らした担い手があり、その農地は令和3年度中に新法人へ配分されなかった為、集積実績は目標値を達成できなかった。
活動に対する評価	担い手へ農地集積する事が可能な農地所有者に対して、継続的に理解と協力を求めていく。

Ⅲ 新たに農業経営を営もうとする者の参入促進

1 現状及び課題

新規参入の状況	H30年度新規参入者数	R元年度新規参入者数	R2年度新規参入者数
	0経営体	0経営体	1経営体
	H30年度新規参入者が取得した農地面積	R元年度新規参入者が取得した農地面積	R2年度新規参入者が取得した農地面積
	0ha	0ha	1.4ha
課題	新規参入促進に取り組んでいる町農林水産課と連携を図っていく。特定農業団体の育成や法人の連携、併せて新規就農を受け入れやすい条件整備の推進も必要になってくる。		

※1 新規参入者数は、活動計画に記載した過去3年の農地の権利移動を伴う新たな新規参入者数を記入し、法人雇用や親元就農は含まない。

※2 新規参入者が取得した農地面積は、上段で記入した経営体が取得した農地面積の合計を記入

2 令和3年度の目標及び実績

参入目標①	参入実績②	達成状況(②／①×100)
1経営体	2経営体	100%
参入目標面積③	参入実績面積④	達成状況(④／③×100)
2ha	0ha	0%

※1 参入目標及び参入目標面積は、活動計画に記載した参入者数及び農地面積を記入

※2 参入実績は、1年間に新たに参入した新規参入者数を記入

※3 参入実績面積は、上記で記入した経営体が取得した農地面積の合計を記入

3 目標の達成に向けた活動

活動計画	年間を通じて、意欲のある新たな担い手の掘り起こしに努める。
活動実績	町として奈古の新規2法人の設立に尽力した。

※ 活動実績は、目標の達成のために、何月に何日何を行ったのか等詳細かつ具体的に記入

4 目標及び活動に対する評価

目標に対する評価	目標値は達成しなかったが、目標値は妥当。
活動に対する評価	今後も農林水産課との連携を密にした普及活動の取組を継続する。

IV 遊休農地に関する措置に関する評価

1 現状及び課題

現 状 (令和3年3月現在)	管内の農地面積(A)	遊休農地面積(B)	割合(B/A×100)
	681ha	23ha	3.37%
課 題	農業者の高齢化、後継者の農業離れにより生産条件不利地の遊休農地が増加している		

- ※1 管内の農地面積は、活動計画に記載した耕地及び作付面積統計における耕地面積と農地法第30条第1項の規定による農地の利用状況調査により把握した同法第32条第1項第1号の遊休農地の合計面積を記入
- ※2 遊休農地面積は、活動計画に記載した農地法第30条第1項の規定による農地の利用状況調査により把握した第32条第1項第1号又は第2号のいずれかに該当する農地の総面積を記入

2 令和3年度の目標及び実績

解消目標①	解消実績②	達成状況(②/①×100)
2.4ha	▲1.1ha	▲45.8%

- ※1 解消目標は、活動計画に記載した解消面積を記入
- ※2 解消実績は、当該年度末時点の遊休農地の解消面積を記入

3 2の目標の達成に向けた活動

活動計画	措置の内容	調査員数(実数)		調査実施時期	調査結果取りまとめ時期
	農地の利用状況調査	6人		7月～9月	10月～11月
		調査方法	農業委員及び農地利用最適化推進員が農地を巡回		
	農地の利用意向調査	調査実施時期:11月～1月			
	その他の活動				
活動実績	農地の利用状況調査	調査員数(実数)	調査実施時期	調査結果取りまとめ時期	
		12人	8月～9月	9月～10月	
	農地の利用意向調査	調査実施時期 11月～1月	調査結果取りまとめ時期	1月～3月	
		第32条第1項第1号	第32条第1項第2号	第33条	
		調査数: 12筆	調査数: 筆	調査数: 筆	
		調査面積: 1.1ha	調査面積: ha	調査面積: ha	
	その他の活動				

4 目標及び活動に対する評価

目標に対する評価	目標値としては妥当であるが、引き続き所有者への理解啓発活動に努める。
活動に対する評価	所有者への情報提供と借り手への協力関係が得られるよう農業委員及び農地利用最適化推進員と連携し解消に取り組む。

V 違反転用への適正な対応

1 現状及び課題

現 状 (令和3年3月現在)	管内の農地面積(A)	違反転用面積(B)
	681ha	0ha
課 題	違反転用の早期発見及び未然防止を図るため、日頃の監視活動が必要。	

※ 管内の農地面積は、活動計画に記載した耕地及び作付面積統計における耕地面積を記入

※ 違反転用面積は、活動計画に記載した管内で農地法第4条第1項又は第5条第1項の規定等に違反して転用されている農地の総面積を記入

2 令和3年度実績

実 績①	増減(B-①)
0ha	0ha

※ 実績は、年度末時点の違反転用面積を記入

3 活動計画・実績及び評価

活動計画	担当地域で違反転用がないように、巡回を行いながら早期発見に努める。
活動実績	常に農地の動向や遊休農地の発生など状況を把握。8月3日(宇田郷)、8月4日(奈古)、8月5日(福賀)に委員全員で町内の農地パトロールを行った。また、2月3日(福賀)、2月4日(奈古)、2月7日(宇田郷)で農地相談を行う予定であったが、コロナによる会場の使用停止により実施できなかった。
活動に対する評価	農地所有者へ啓発活動を一層進めていく必要がある。

※ 活動実績は、違反転用の解消や早期発見・未然防止のために何月に何日何を行ったのか等詳細かつ具体的に記入

Ⅵ 農地法等によりその権限に属された事務に関する点検

1 農地法第3条に基づく許可事務

(1年間の処理件数: 17件、うち許可 17件及び不許可 0件)

点検項目		具体的な内容			
事実関係の確認	実施状況	申請書類提出の際に記載されている事項について、申請時、また、その後に確認を行い、担当委員と事務局により現地確認や聴取等を行う。			
	是正措置	－			
総会等での審議	実施状況	関係法令・審査基準に基づき、審議している。			
	是正措置	－			
申請者への審議結果の通知	実施状況	申請者へ総会等での指摘や許可条件等を説明した件数		17件	
		不許可処分の理由の詳細を説明した件数		一件	
	是正措置	－			
審議結果等の公表	実施状況	議事録にて詳細に記載し、公表している。			
	是正措置	－			
処理期間	実施状況	標準処理期間	申請書受理から 30日	処理期間(平均)	25日
	是正措置	－			

2 農地転用に関する事務（意見を付して知事への送付）

(1年間の処理件数: 6件)

点検項目		具体的な内容			
事実関係の確認	実施状況	申請書類提出の際に記載されている事項について、申請時、また、その後に確認を行い、担当委員と事務局により現地確認や聴取等を行う。			
	是正措置	—			
総会等での審議	実施状況	関係法令・審査基準に基づき、審議している。			
	是正措置	—			
審議結果等の公表	実施状況	議事録にて詳細に記載し、公表している。			
	是正措置	—			
処理期間	実施状況	標準処理期間	申請書受理から 30日	処理期間(平均)	25日
	是正措置	—			

3 農地所有適格法人からの報告への対応

点検項目	実施状況		
農地所有適格法人からの報告について	管内の農地所有適格法人数		9法人
	うち報告書提出農地所有適格法人数		9法人
	うち報告書の督促を行った農地所有適格法人数		—
	うち督促後に報告書を提出した農地所有適格法人数		—
	うち報告書を提出しなかった農地所有適格法人		—
	提出しなかった理由	—	
	対応方針	—	
農地所有適格法人の状況について	農地所有適格法人の要件を欠くおそれがあるため農業委員会が必要な措置をとるべきことを勧告した農地所有適格法人数		—法人
	対応状況	—	

4 情報の提供等

点検項目	具体的な内容		
貸借料情報の調査・提供	実施状況	調査対象賃貸借件数 131件	公表時期 令和4年2月
		情報の提供方法:町の広報、ホームページに掲載する。	
	是正措置	—	
農地の権利移動等の状況把握	実施状況	調査対象権利移動等件数 388件	取りまとめ時期 令和4年3月
		情報の提供方法: —	
	是正措置	広報誌等に掲載する。	
農地台帳の整備	実施状況	整備対象農地面積	932ha
		データ更新:電算システムにより整備。	
		公表:利用状況調査結果、相続等の届出、農地法の許可、農用地利用集積計画に基づく利用権設定等、その他補足調査を実施し毎月更新している。	
	是正措置	—	

※その他の事務

上記ⅡからⅥに掲げる事務以外の事務について、次年度の目標及びその達成に向けた活動計画を作成する場合には、それぞれの事務ごとに、上記様式に準じて取りまとめること。

Ⅶ 地域農業者等からの主な要望・意見及び対処内容

農地利用最適化等に関する事務	〈要望・意見〉 特になし 〈対処内容〉
農地法等によりその権限に属された事務	〈要望・意見〉 特になし 〈対処内容〉

※ Ⅱ～Ⅵの事務について、活動を通じて地域の農業者等から寄せられた主な意見及び対処方針について記載

Ⅷ 事務の実施状況の公表等

1 総会等の議事録の公表

HPに公表している

その他の方法で公表している

現在、備え付けにより公表している。

2 農地等利用最適化推進施策の改善についての意見の提出

意見の提出件数

0 件

提出先及び提出した 意見の概要	
--------------------	--

3 活動計画の点検・評価の公表

HPに公表している

その他の方法で公表している

HPに公表している